

栄養ふくい



The Nutrition and Dietetics of Fukui

第 14 号

令和 7 年 2 月 27 日 発行

公益社団法人 福井県栄養士会

TEL・FAX / 0776 (27) 5999

E-Mail / fukuei@nifty.com

私たち福井県栄養士会は、誰一人取り残さない
実効性のある栄養改善活動を推進します。



令和7年1月28日 理事会にて

会長挨拶

会長 阿部 喜代子

新しい年、令和 7 年を迎え、皆さまがそれぞれ新たな気持ちで業務に取り組み、充実した日常を過ごしておられることと存じます。

福井県栄養士会は令和 6 年 6 月より新体制での活動をスタートし、少しずつさまざまな取り組みを進めて参りました。まだまだ道半ばではありますが、一歩ずつ前進していることを実感しています。昨年 12 月 21 日には、4 年ぶりに年末懇親会を開催し、多くの皆さまにご参加いただきました。温かい交流や意見交換を通じて、多くの学びと気づきを得る貴重な機会となりました。今年も、研修会やイベントなど、幅広い分野で活躍される会員同士が直接交流し、経験や情報共有を深めることができる場を作っていきたいと考えておりますので、皆さまの日々の活動の振り返りや、さらに前進するための一助となれば幸いです。

管理栄養士・栄養士の仕事は、人々の命と健康に直接関わる、大変重要な役割を担っています。「生きることは食べること、食えることは生きること」ですから、私たちの

活動は生きていくあらゆる側面に深くつながっています。

そして、そのつながりを未来へとつなげていく責任も私たちにはあります。例えば、胎児期から妊娠期と乳児・幼児期、それを生み育てる若い女性、学童期、青年期、中年期、高齢期、そして健康な方々から傷病者、障害を持つ方々や障害児、介護が必要な方々、さらには被災者に至るまで、誰一人取り残さない実効性のある栄養改善活動が求められています。

これらの活動を支えるためには、幅広い視野を持ち、どのような状況にも対応できる栄養ケアができる人材の育成がますます重要となっています。目の前にある課題や期待される役割に対し、できることを地道に実践し続けていかなければなりません。ともに支え合いながら、私たちの力を結集し、地域や社会により良い貢献ができるよう歩んで参りましょう。

新しい年が、皆さまにとって健やかで希望に満ちた日々となりますよう、心よりお祈り申し上げます。そして、未来へとつなげていけるよう着実に進んでいくことを願っています。これからも、皆さまと共に歩んでいけることを大変嬉しく思います。どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。

誰一人取り残さない

日本の栄養政策

～持続可能な社会の実現のために～



ぜひご覧ください。

日本の栄養政策における重要な3つの要素

1. 「食事」を中心とした栄養政策
(全ライフコースのほか、傷病者や被災者までカバーする栄養政策)
2. 「人材」の養成と全国への配置
3. 科学的な「エビデンス」に基づく政策プロセス



妊産婦・乳幼児

母子の健康を守り、安全な出産と育児に備える重要な時期です。妊産婦には葉酸や鉄分の摂取、適切な体重管理、母乳分泌を促す指導が求められます。

また、乳幼児期には健やかな成長と発達を支えるため、適切な離乳食や食育を通じて、親子で健全な食習慣を育む支援が必要です。



学 童 児

身体が成長・発達する大切な時期であり、食に関する正しい習慣や知識を身に付けていくことが重要です。給食を教材として活用し、児童生徒に豊かな食経験を提供すること、個別性の高い事例へのきめ細やかな相談指導を実施することが求められます。



成 人 (青壮年期・中年期)

青年期は10代～20代後半頃までを指し、女性の慢性的なやせは将来の健康に大きな影響を及ぼすため、健康意識を高める啓発活動が必要です。

男性においては、脂質や糖質、そして塩分の過剰摂取が問題となっており、野菜摂取の低下による食物繊維不足やアルコールの過剰摂取も懸念されています。本人が実践できる支援策の提案が求められています。



高 齢 者

高齢者のやせ（フレイル・サルコペニア）が問題となっています。高齢者の場合、一度痩せると体重が非常に戻りにくいため痩せないことが大切になってきます。ただし、摂食嚥下や口腔状態、買い物難民や調理技術など問題が多数あり本人に寄り添った支援が必要になります。



傷 病 者

健診受診率の向上により、生活習慣病やがんの早期発見を促し、重症化を防ぐ取り組みが進められています。

また、怪我や病気からの早期回復を目指した栄養管理や、摂食・嚥下機能が低下した方への食事調整を行います。さらに、医療や福祉と連携し、QOLの向上を目指した途切れることのない栄養支援が必要です。



被 災 者

震災などで生活環境が変わらざるを得なくなります。生活スタイルが変わることで知らないうちに栄養が偏ることもあります。しかし様々なストレスを抱えている方へ良かれと思ったアドバイスが余計なお世話になることもあります。被災者に寄り添った支援ができるようスキルアップが必要です。

研修会報告 & 告知

妊産婦・乳幼児 地域活動研修

乳児を持つ保護者の立場にたった 離乳食指導を学ぼう



実施
11.30

調理実習を伴う研修は、2020年以降初の開催となりました。定員を超えてしまい、お断りした方々には大変申し訳ありませんでした。次年度は定員の枠も広げて乳幼児期の研修を検討しております。

学 童 児 学校健康教育研修

発達障がい・神経障がいをもつ 児童生徒への関りについて

福井県こども療育センター 川谷 正男 先生



実施
1.18

児童生徒への理解を深め、今後の関わり方について学び、各施設の現状や課題を共有し話し合うことで、実践に結びつく具体的な方法を考えることができました。

成 人 生涯教育研修

摂食障害へのアプローチ

福井大学医学部附属病院 小坂 浩隆 先生



実施
10.27

摂食障害は食事に関する行動に加え、心身ともに影響を及ぼす病気です。その治療には、周りの人々の気付きが非常に重要です。摂食障害情報ポータルサイトの存在を知り、専門家への連携方法についても学びました。

高 齢 者 生涯教育研修

在宅訪問におけるアセスメントと 対応する力

PEACH厚木 江頭 文江 先生



実施
10.27

在宅訪問の際には、視野を広く持ち、本人の栄養状態、家族の介護力、住宅の状態、周辺の環境などを総合的にアセスメントすることが重要です。継続して実施できる提案を行い、対象者が求める姿を支援するという心構えを学びました。

傷 病 者 生涯教育研修

糖尿病の治療において管理栄養士が 知っておくべき知識

福井中央クリニック 笈田 耕治 先生

実施
8.3

糖尿病治療薬と最新医療機器

福井県済生会病院 水野 賀夫 先生



糖尿病治療薬の進化や最新機器により血糖管理が手軽に実施できるようになり患者負担が軽減しています。栄養管理を行う立場として押さえておきたい内容でした。

被 災 者 JDA-DATリーダー研修

被災地からの報告



実施
10.5

避難所に行く場合にも家にある備蓄品などは持参しましょう。避難所では乳幼児用の食品やアレルギー対応食・高齢者用摂食嚥下食品などは用意されていない場合がほとんどです。自分の周りの人にぜひお知らせし自助力の向上につなげましょう。

研修会報告 & 告知

JDA-DATふくい スタッフ研修会



11月から12月にかけて、JDA-DAT ふくいスタッフ研修会を実施しました。

今年度は例年に比べて多くの参加者が集まり、被災者を支援する心構えなどを学びました。12月21日には救急救命講習として実地での研修会を行い、救急救命士の指導のもと、胸骨圧迫やAEDの使い方、窒息事故、熱中症などの対応について学びました。

研修後の活動説明会においては、阿部会長より福井県栄養士の災害対策委員会設置要綱の内容説明がありました。JDA-DATふくいの連絡体制も再整備し、非常時を見据えた組織づくりを進めます。

JDA-DAT リーダー研修会



2024年10月、石川県においてJDA-DATリーダー研修会が開催され、福井県からはJDA-DATスタッフの3名が参加しました。

同年1月に石川県で発生した能登半島地震の経験をもとに、石川県行政と石川県栄養士会の方々が当時の状況などを話されました。

その後はグループセッションを行い、各県のスタッフやリーダーが自身の自治体の現状、今後の災害への備えについて意見交換しました。

参加者からは「平常時からの体制づくりが重要である」という声が多く上がり、日頃の活動を見直す貴重な機会となりました。

在宅栄養管理指導研修センター 運営委託事業研修会

第1回 令和6年12月7日(土)



公益社団法人日本栄養士会
栄養ケア・ステーション事業部
加藤 すみ子 先生

つながる医療、介護、障害福祉、 栄養ケア・ステーション

～これからの栄養士、管理栄養士の展望～

国の動向と栄養施策から、データをもとに福井県の栄養に関する重点項目と具体的施策を説明いただき、地域密着型の栄養ケア・ステーションが担う役割の重要性を学びました。地域住民や各種団体の用途に応じたサービスを提供できるよう、福井県栄養士会においても会員のスキルアップや栄養ケア・ステーションでの積極的な活動の必要性を実感しました。

2024トリプル改定について



山田 友香 氏



田中佳那子 氏



久守 勘司 氏

第2回 令和7年1月11日(土)



長崎リハビリテーション病院
教育研修部 栄養管理室 室長
西岡 心大 先生

GLIM 基準の実践

～地域連携を進めるために～

GLIM 基準とは、令和6年度の診療報酬改定により、回復期リハビリテーション病棟での導入が義務化または努力義務化されました。GLIM 基準は、低栄養を標準的に診断するために策定された国際基準であり、表現型(体重減少、低BMI、筋肉量減少)と病因(エネルギー摂取量の低下、炎症や疾患の影響)の両面から評価を行います。

回復期リハビリテーション病棟におけるGLIM 基準の活用方法について、エビデンスや具体的な事例を交えながら解説が行われ、現場での実践をイメージしやすい内容でした。GLIM 基準を正しく理解し、適切に活用することが、患者の予後やリハビリの成果に大きく影響を与えることを改めて学びました。

第3回 令和7年2月22日(土)



座長：
歯科医師
大野屋 雅寛 先生

場所：商工会議所 2F 会議室
※ハイブリッド形式

摂食嚥下障害に 多職種で関わろう

①ミールラウンドの実際 あさむつ苑の取り組み

各職域からのポイント
歯科衛生士 三上 豊美 氏
言語聴覚士 上道 大地 氏
管理栄養士 永田 めぐみ 氏
ポイントと全体のまとめ
歯科医師 大野屋 雅寛 先生

②嚥下調整食リーフレットの 活用について

福井県食品加工研究所
主任研究員 五十嵐 めぐみ 氏



第12回 栄養管理・食育研究会



令和6年11月23日(土)、福井商工会議所において、第12回 栄養管理・食育研究会を開催しました。

一般演題1は、令和6年度診療報酬改定により導入された GLIM 基準や栄養情報連携に関する発表など日々の業務に役立つ内容でした。また、一般演題2は、児童、学校健康教育、研究教育の3つの職域からの発表に加え、災害に関する演題も公衆衛生の観点から発表され、多彩な内容となりました。なお、社会医療法人財団 中村病院、越前市健康増進課、福井県済生会病院の演題は、第20回日本栄養改善学会北陸支部学術総会で発表されました。

一般演題 1 | 座長：山本 浩範，竹林 尚恵

1. GLIM 基準を用いた栄養管理の取り組み

福井県済生会病院 沖村 喜美恵

2. 入院時における管理栄養士の関わり

医療法人博俊会 春江病院 竹田 邦恵

3. 当院の栄養情報連携の現状について

社会医療法人 財団 中村病院 奥山 実果

4. 早期栄養介入管理加算算定に伴う栄養管理の必要性に関する意識調査

福井県済生会病院 中川 里衣

5. アームスパンを使用した骨格筋量指数によるサルコペニア、プレサルコペニアの分布

福井大学医学部地域医療推進講座 新井田 裕樹

一般演題 2 | 座長：石黒 真理子，浦上 泰子

6. 乳幼児期における塩分摂取の実態について

越前市健康増進課 國本 達矢

7. 保育園における野菜が苦手な子どもに対する集団的アプローチ

すみれ保育園 渡邊 典子

8. ICTを活かした食育推進

小浜市今富小学校 宮川 友樹子

9. 青年期への「ふくい 100 彩ごはん」を食の情報源とした健康教育の取り組み

仁愛大学健康栄養学科 水口 富晶

10. 災害時における給食提供に関する実態調査から考える保健所の役割

丹南健康福祉センター 向井 裕紀子

特別講演では、東京農業大学の多田由紀准教授をお迎えし、幼児期の健やかな発育と食習慣の形成における「食べる力」の育成、幼児期の食習慣の重要性、保護者の役割、さらには妊娠期の栄養教育の重要性について、わかりやすくお話しいただきました。

また、多田先生は、会の初めから参加され、会員による一般演題にも関心を寄せておられました。

特別講演



講師：東京農業大学 准教授 多田 由紀 先生

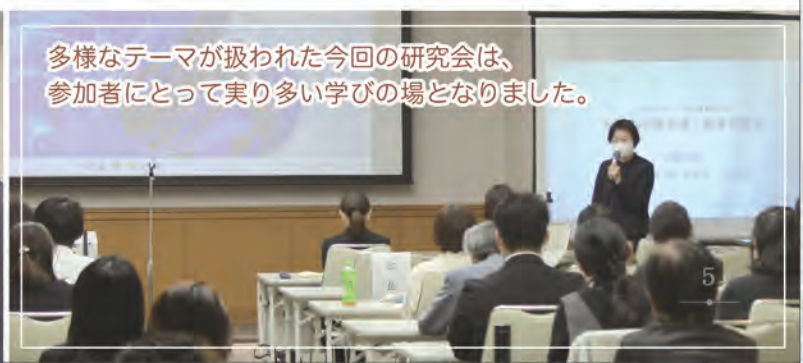
演題：「母親の妊娠期から子どもの
幼児期における栄養と食生活支援」
～ 妊娠期から始まる食習慣の形成 ～



賛助会員展示コーナー



多様なテーマが扱われた今回の研究会は、
参加者にとって実り多い学びの場となりました。



栄養士会年末懇親会

日時：12月21日(土) / 会場：ザ・グランユアーズフクイ 天山の間 / 参加者数 114 名



令和2年以降、コロナ禍事情により中止となっておりました懇親会を4年ぶりに開催しました。

懇親会が始まると、映画【おしよりん】の楽曲を提供したおふたり（中曽根有希様・松村郁代様）による琴とクラリネットの生演奏がながれ、会員同士が久しぶりに顔を合わせる機会となり喜びの歓声が多数あがっていました。

会場には朝の連続テレビ小説「おむすび」のポスターを掲示し、お料理にもおにぎりを提供しました。

杉本知事をはじめご来賓の方々、賛助会員、会員と多数ご参加いただきありがとうございました。

多職種連携は大切ですが、まずは同職種による顔の見える連携をより充実させるためにも、ぜひ来年度はより多くの会員の皆様がご参加いただけることをお待ちしております。



今後の研修予定

1 がんの栄養管理に関する研修会

日時：令和7年3月21日(金) 18:30～20:00

場所：商工会議所 会議室 A ハイブリッド形式

講演：「胃・食道がんの手術を理解した栄養管理」

講師：福井大学医学部附属病院

がん診療推進センター センター長 廣野 靖夫 先生

参加費：会員 1,000円 / 非会員 3,000円

申し込み締め切り 3月7日

2 令和7年度 定時総会を5月31日(土)に行います。

場所：国際交流会館 地下1F 多目的ホール

特別講演：日本健康・栄養システム学会 専務理事 杉山 みち子 先生

栄養ケア・ステーション 事業部からのお知らせ

令和7年春 福井県初の認定
栄養ケア・ステーションが
開設されます。

現在、会員の皆様が地域で
活動しやすいように環境を
整えております。

情報コミュニケーション 事業部からのお知らせ

令和7年 ホームページのリニュー
アル・研修参加申込みのDX化
など会員の皆さまが利用しやす
いシステムを構築予定です。



ふくい健康づくり応援サイト

ふくい健康づくり応援計画に福井県栄養士会も参画しています



賛助会員のPRコーナー

**偏りがちな栄養を
バランスよく
手軽に補給**

POINT 01 5大栄養素が
バランスよく摂れる

POINT 02 ビタミンは1日に
必要な量の約半分!

POINT 03 カロリー計算が簡単
1罐(215g) 200kcal

POINT 04 食が進まない時にも
飲みやすい

CalorieMate

SINCE 1984
Presentation & Maintenance of Kitchen

物中厨房株式会社
〒910-0001 福井県福井市
TEL: 077-222-1111 FAX: 077-222-1112

日頃の感謝を
込めて

**株式会社サン食品創立50周年記念
『命在食』セミナー及び展示会開催**

日時 : 2025年5月24日(土)
時間 : 午前9時から
場所 : 福井県産業会館

詳細は後日ホームページなどにて
ご案内いたします

サン食品おすすめ 地産地消商品

Nライスパフ40g



福井県円山地区で作られた
越のりソットを
100%使用した
ポン菓子です



Sun 株式会社サン食品

NEW

2025年
1月6日発表

「Yakult (ヤクルト) 1000」
に比べ、
糖質・カロリー
32% OFF

糖質オフ
生きて役に立つ
乳酸菌 シロタ株

Yakult 1000に比べ
糖質・カロリー
32% off
乳酸菌(乳酸菌飲料)

糖質オフ
甘さひかえめ
なのにおいしい

賛助会員広告



株式会社アコス
FOOD COMMUNICATION

Eat Well, Live Well.

Aji
AJINOMOTO.

アストリション

株式会社アストリション
〒919-0515 福井県坂井市坂井町若宮 3-2-13
0120-663-345
<https://athtrition.com/>



icc 株式会社
石川コンピュータ・センター

お問い合わせ先: 076-268-8315



栄養管理システム
LifLi 栄養 Hi

伊那食品工業株式会社
様々な料理のくっつきを防止する素材
くっつかないで

どんな時にお役立てください!!
麺がくっついて取り分けにくい
混ぜご飯が混ぜにくく色ムラができる

通常加水
約1割UP
加水すると
できあがり量も
増えます

くわしくは
動画で!



IFSCO イフスコヘルスケア株式会社

医療・福祉施設等給食業務請負
(医療関連サービスマーク認定・日本メディカル給食協会会員)

本 社 〒553-0003 大阪市福島区福島七丁目15番26号
福 井 事 務 所 〒910-0006 福井市中央3丁目3-21 福井中央ビル3階
TEL (0776) 97-8156 / FAX (0776) 97-8157
ホームページ <http://www.ifsc-hc.co.jp>

「伝えたい」が「伝わる」
栄養指導フードモデル

いわずさグループ
お問い合わせ
ご注文は
こちらまで
0120-198-953
〒920-0848 金沢市京町32-22
株式会社いわずさ 金沢営業所
TEL: 076-251-1418
www.foodmodel.com

偏りがちな栄養を
バランスよく
手軽に補給

Calorie Mate

01 5大栄養素が
バランスよく摂れる

02 ビタミンは1日に
必要な量の約半分!!

03 カロリー計算が簡単
1箱(21g) 200kcal

04 食が進まない時にも
飲みやすい

尾家産業株式会社

●業務用カット野菜&青果卸販売●

光陽青果 株式会社
Fruit and Vegetable Dealer

〒910-0836 福井県福井市大和田1丁目101番地
TEL 0776-53-1177 FAX 0776-53-5224
<http://www.koyo-seika.com/>

業務用総合食品問屋

塩田食品株式会社

本社 〒918-8578 福井市円山1丁目405
TEL: 0776-54-6767 FAX: 0776-54-6633
支店 〒914-0053 敦賀市舞崎町2丁目19-4
TEL: 0770-25-1155 FAX: 0770-25-1239

高齢者専門宅配弁当

宅配クック123

厚生労働省「配食ガイドライン」に基づき
「たんぱく質量」が担保されたお食事を
「食べ切れる量」でお届けします。

福井県 宅配クック123

賛助会員広告



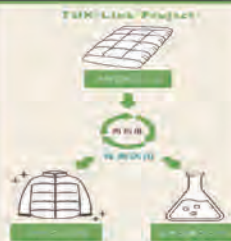
Sun 株式会社サン食品

☎918-8161 福井市銚ヶ崎町25-58
TEL (0776) 38-3830番(代)
FAX (0776) 38-2985番
URL ホームページ <http://www.sunsyokuhin.co.jp>
E-mail @メール info@sunsyokuhin.co.jp

不要な羽毛ふとんは
ありませんか？

東洋羽毛が無料でお引取りします

東洋羽毛は、不要羽毛を回収し、
リサイクルして、
50Gは無料回収（回収料100
円超は有料）です。



TUK 東洋羽毛北信越販売株式会社 北陸営業所
〒921-8066 石川県金沢市大木3丁目270 ☎0120-365-021

食生活の多様化に対応した
『食文化のコーディネーター』

全国を網羅した販売網を基幹として、
安全で衛生的な先進のシステムや機器の提供を
NAKANISHIは率先して行います。



株式会社 中西製佐所

■福井営業所
〒910-0501 福井市大幡寺二丁目9番1号 福井駅前ビル3F
TEL (0776) 97-6272 FAX (0776) 97-6327

病院・高齢者福祉施設のお食事のことならお任せください
お食事を通じて高齢者の皆さまに生きる喜びを



株式会社 **ナリコマ** エンタープライズ

金沢営業所
〒920-0848 石川県金沢市京町35-31
TEL.076-255-3810 FAX.076-255-3820

NISSHIN oillio 日清オイリオ
『植物のチカラ』

安全な食品作りは調理器具選びから

HACCPに沿った異物混入対策・食中毒対策は万全ですか？
ハセガワは調理器具で衛生管理をサポートします

HASEGAWA®
長谷川化学工業株式会社
〒216-0022
千葉県八千代市上高野1384-5
TEL (047) 482-1001



畑中厨房株式会社
代表取締役 畑中 博

〒918-8239 福井市成和1丁目906
TEL:0776-24-1477 FAX:0776-22-3268

食を通じて豊かな生活に貢献する

(株)紙 安 (水産部門)
(株)フーディー (給食食材卸)
(株)ファインミール (食堂経営・給食サービス)

住所：金沢市西念4-16-1 TEL：076-233-1610

ミタスグループのメディカル専門人材派遣会社

株式会社フォーカル・トラスト
Focal Trust

労働者派遣事業 派18-300071 有料職業紹介事業 18-ユ-300061

meiji



株式会社 明治

明治コーポレーションインフォ
<https://www.meiji.co.jp/mei/mc/mcinfo.html>

乳酸菌 シロタ株が

**高菌数
高密度**



Yakult

乳酸菌 シロタ株が
1本(100ml)あたり
1,000億個

※ヤクルトレディがお届けしています。

(株)ヤクルト北陸 福井本社

【お申し込み・お問い合わせ】 ☎ 0120-1-8960-3

受付時間 9:00~17:00
土・日・祝・
夏季休業・年末年始を除く

福井県栄養士会 会員募集と会費のお知らせ

《 会 / 員 / 募 / 集 》

「管理栄養士・栄養士は職場で私ひとり…」
そんな寂しさ、感じていませんか？

もしそうなら、**ぜひご入会ください！**

ここには、あなたと同じ志を持つ

たくさんの仲間がいます。



所属するメリットは？

仲間とのつながり

職場の悩みや成功体験を共有し、
業務のヒントが得られる！
全く違う環境で働く仲間から、
新しい発見やアイデアが生まれる！

視野と活動の場が広がる！

他の職場の取り組みを知り、
自分の成長につなげられる！
つながりを通じて、
新たなプロジェクトに
挑戦するチャンスが！



福井県栄養士会に入会すると、日本栄養士会にも同時に所属出来ます！

《 会費のお知らせ 》

	既 会 員	新 会 員 (再入会含む)
福井県栄養士会入会金	—	1,000円
福井県栄養士会会費	8,000円	8,000円
日本栄養士会会費	6,500円	6,500円
合 計	14,500円	15,500円

会費納入方法

- 新規・再入会の場合は、下記指定の窓口へ会費を送金後、申込書に必要事項を明記し、振込証を入会申込書の添付箇所に貼付して、栄養士会事務局にFAX、あるいは郵送ください。
- 入会継続の場合は、原則としてコンビニ収納となりますので、送付されてきたはがきをご利用ください。期限に間に合わない場合などは、指定の口座に送金ください。

※3月頃、ハガキが送付されます。忘れずに納入しましょう。

振込先：① 郵便局:00760-1-29715

② 福井銀行 本店:0715691

入会申込書、登録内容変更は**こちらから**

申込書に必要事項を入力し、
職域・勤務先(またはフリーランス)を必ずご記入ください。
勤務先や所属が変更となった場合も福井県栄養士会までお知らせください。



日本栄養士会 会員特典を活用しましょう！

入会特典

毎月、栄養関連最新情報掲載の日本栄養士会雑誌が届きます。



日本栄養士会会員は会費を
納入すれば「栄養士賠償責任保
険」に全員自動加入！

万が一の事故に備えられます。

(最大1億円の補償金額)

例：誤嚥・窒息事故に
よる裁判費用や
慰謝料など



スキルアップの目標として
栄養士会の資格を取得しません
か？

管理栄養士・栄養士としての
スキルを高めたり、専門性を磨
いたりするための認定制度を用
意しています。



福井県栄養士会・日本栄養
士会により年間300を超える研
修会を実施しており、会員価格
で参加できます。

対面による来場型やオンライ
ンなどライフスタイルや好みに
合った研修会を選べます。



フォームアンケートにご協力ください。

右のQRコードより栄養ふくい14号への感想をお寄せください。➡



公益社団法人 福井県栄養士会 月・火・木・金 9:30~16:30 / Tel・Fax 0776 (27) 5999 / fukuei@nifty.com
事務所：〒910-0004 福井市宝永3丁目10-16 共栄レジデンス1F

栄養ふくい 第14号
(令和7年2月)

■ 編集 / (公社) 福井県栄養士会 情報コミュニケーション事業部 (石塚雅章, 黒羽根 七海, 林恵子)
■ 印刷 / イトー印刷。